

第12回沖縄県教育委員会会議（定例会）

1 日時 平成24年10月17日 15時00分～16時15分

2 場所 教育庁第1会議室

3 出席者

委員	安次嶺 委員（委員長） 中野 委員 新垣 委員 安里 委員 宮城 委員 大城 委員（教育長）	（欠席委員）
----	---	--------

教育 庁	統括監等	教育管理統括監、教育指導統括監、参事
	課長及び 班長等	総務課長、財務課長、施設課長、福利課長、 県立学校教育課長、義務教育課長、保健体育課長、 生涯学習振興課長、文化財課長
	職務のため 出席した者	（事務局） 総務課総務班班長、同班主査、同班主任（2名）、同課教育企画 監、同課教育企画班主幹、同班指導主事、同班主査、県立学校教育 課主任指導主事、生涯学習振興課生涯学習班班長、同班社会教 育主事、同班主任

4 傍聴した者

記者2人 / その他4人

平成24年第12回県教育委員会会議（定例会）

（開会15:00）

委員長	ただ今から平成24年第12回県教育委員会会議・定例会を開催します。 はじめに会期の決定を行います。本日1日を予定しておりますが、よろしいでしょうか。
各委員	異議なし。
委員長	このとおり決定します。 次に第11回会議録の承認を行います。宮城委員お願いします。
宮城委員	正確に記載されております。
委員長	正確に記載されているとのことですので、承認してよろしいでしょうか。
各委員	異議なし。
委員長	このとおり決定します。 今回の会議録署名人は、中野委員にお願いします。
中野委員	はい。
委員長	次に教育長報告に入ります。報告1について説明をお願いします。
教育長	（教育長報告1の説明） ・平成24年第5回沖縄県議会（9月定例会）における質問・答弁概要について
委員長	議員の皆さんから多くの質問があがり、教育問題に対する関心の高さが議会内でも非常に大きいものだということを、私達も議会に出席し感じました。お疲れ様でございました。 御質疑ございますか。
中野委員	高等学校の編成整備について、前回の農林高校と工業高校の合併がなくなった理由については、説明責任を果たすためにも、検証を含め、きちんとまとめておくべきである。それを備えることで、今回の水産高校との合併も説明できる。 農林高校と工業高校の再編計画が中止となった理由は、生徒の目線から、お互いに編成整備の方向を検討した結果であると思うので、その結果の意義の深さから、統合が出来なかった理由を検証する必要がある。 また、南部工業高校と沖縄水産高校との再編統合についても、同窓生が一致団結して反対していると伺っている。子ども達の目線、時代の要求を視野に入れ、事務局も検討していると思うが、統合に反対されている方にもきちんと説明出来る様、関係者の方としっかりコミュニケーションをとって、対応頂きたい。
委員長	一つの学校が消えるということは、地域から相当大きな反対運動が起こることは当然ですので、今中野委員のおっしゃったように、何故再編統合をす

	<p>るのか、本質的な部分を詰めていかないと、その本質を見失うかもしれません。現状を見ると、私達が（関係者の方々を）十分に納得させるだけの説明が出来なかったということになるかと思います。</p> <p>他にございませんか。</p> <p>（しばし間があり）</p> <p>それでは、報告2について説明をお願いします。</p>
教育長	<p>（教育長報告2の説明）</p> <p>・平成25年度公立学校管理職候補者選考試験最終合格者について</p>
委員長	<p>教頭職における女性の合格者が増えたということですね。</p> <p>小中校長の女性合格者が少ないのは、受験者が少ないということでしょうか。</p>
義務課長	<p>小中校長の女性合格者が少ないのは、現在の女性教頭職の人数が少ないため、校長試験を受験する方も少なくなっていることが要因と考えております。</p> <p>今年度、教頭の職員数が大分減ったため、心配していたのですが、今回の試験で女性の教頭職が増えましたので、次回、校長試験に挑戦する方も増えると思います。</p>
委員長	<p>他にございませんか。</p> <p>（しばし間があり）</p> <p>それでは、報告3について説明をお願いします</p>
教育長	<p>（教育長報告3の説明）</p> <p>・青少年健全育成「CGG運動」・「おきなわ地域教育の日」の屋外広報活動 - 10月6日～12月15日に県庁前交差点スーパービジョンにて放映 - について</p> <p>（説明後、コマーシャルを放映）</p>
学振課長	<p>生涯学習振興課では、健全育成と非行の未然防止ということで、社会教育団体と共に活動をしております。その活動の一つである広報活動について、今回報告させて頂きました。</p> <p>資料11ページの下の方に記載がありますが、スーパービジョンの放映は、パレット久茂地前で終日1時間に2回（29分、59分）、サンエー那覇メインプレイス前では、終日1時間に4回（2分、12分、32分、42分）となっています。</p> <p>また、本コマーシャルは1ヶ月で112分の放映となるのですが、今回はサンノア有限会社さんのご厚意で、他のコマーシャルの合間に放映させて頂けることになりました。</p> <p>学社融合という視点から、県民総ぐるみで意識を覚醒するという事を考えております。</p>

	ここで、生涯学習班長より補足説明をさせていただきます。
学振生涯学習班長	<p>補足致します。放映時間ですが、毎時間流れることになっておりますので、夜でも朝でも見ることが出来ます。</p> <p>先ほど課長からお話がありましたが、サンノアさんにかなりご協力頂きまして、年間1千万円かかる広告料を、今回無料で放映させて頂いております。</p> <p>また、当課では来月からマスコミ等各社の訪問を予定しており、12月にはNHK沖縄放送局の「りっかりっか沖縄」へも出演を予定しております。来年の2月には「うまんちゅ広場」へ本課の課長も出演致しますので、ぜひよろしくお願い致します。</p>
学振課長	今回のコマーシャルは、当課の職員が作成を担当しましたが、専門業者であるサンノアさんにも当作品の中身を評価していただきました。
中野委員	<p>大変大きな前進であると思う。見た瞬間にこれはすごいと感じたが、放映時間を現状の二倍、三倍にして頂きたい。予算が足りないのであれば、知事をお願いし対応するなど、それ程の価値がある取組みである。</p> <p>これは健全育成だけではなく、学力向上対策にも繋がるので、街中の人が振り返り映像を確認できる程に、時間を長くして放映頂きたい。これは沖縄県を変える大きな力になると思う。</p> <p>沖縄は他県と比較しても一人親の家庭が多く、子ども達を十分に監督出来ない状況も見られるので、このような取組みを強く出した方が良い。</p>
委員長	コマーシャルは時間枠を頂いていると思いますが、時間内であれば内容も変えられるのでしょうか。
学振生涯学習班長	今年度については内容は変更出来ませんが、次年度からは可能です。
委員長	<p>コマーシャルですが、基本的にはプロ並の作品であり、大変良く出来ていると感じます。</p> <p>感想になりますが「沖縄地域教育の日(15秒)」について、文字だけの映像が多く、カラフルでないので、パッと文字を印象付けるためにも上手く色を入れて頂ければと思います。</p> <p>もう一点、同じく「沖縄地域教育の日(30秒)」ですが、お酒とタバコの映像が出ますが、内容が法律的ですね。「お酒は20歳から」というのは皆さん周知の通りでありますし、吸うなど言っても吸うし、飲むなど言っても飲んでしまいます。なので、ここでは「20歳からなら飲んでも良い」という言い回しはやめた方が良いのではないかと思います。むしろ、タバコは「大人でも健康に悪いから辞めましょう」等、吸わないような方向に持っていくのはどうでしょうか。</p>

	<p>また、沖縄は飲酒絡みの事故も多くありますので、次回内容を検討する際には、子どもや女性があまりお酒、タバコについて関わることのないような表現を取り入れてみるのも良いと思います。</p>
新垣委員	<p>コマーシャル内で流れている音楽がインパクトがあって良い。 皆で子ども達のために、沖縄県を良くしようと取り組んでいる事例であり、素晴らしい映像であるので、もっと放映についてPRして頂きたい。</p>
委員長	<p>今日いらしているマスコミ関係の方にも、この映像が放映された際には、社会面に掲載して頂き、広報についてご協力をお願いしたいと思います。</p>
新垣委員	<p>ぜひとも皆で呼びかけをして、活動して頂きたい。</p>
安里委員	<p>素晴らしい取組みなので、ホームページにも掲載しながら、色々な形で見られるようにして頂きたい。最近ではYouTube等に掲載し、ヒットすれば視聴回数が何万件にも上るようなので、広く皆さんに見て頂けるよう対応頂きたい。</p>
委員長	<p>県の広報もYouTubeに掲載することは出来るのでしょうか。</p>
宮城委員	<p>どなたかが掲載すれば、閲覧は出来るのではないか。</p>
委員長	<p>YouTubeは閲覧者の数も多いので、とても良い取組みだと思います。 他にございませんか。</p>
宮城委員	<p>テレビコマーシャルになると、もう少し金額がかかるのでしょうか。 2箇所ですが、1時間に2回以上放映しているということで、すごく素晴らしい試みだと思います。 これは印象としては、大人に向けたメッセージでしょうか。</p>
学振課長	<p>どちらかと言いますと、そうなります。「大人が変われば子どもも変わる」というメッセージもございます。</p>
宮城委員	<p>「大人が変われば子ども変わる」という文字はインパクトが非常にありました。</p>
中野委員	<p>先ほど委員長からも話があったが、内容について検討する余地はある。 例えば、効果を出すために、プロゴルファーの宮里藍さんや、宮里美香さんなど世界的に知名度のある沖縄出身の方に出演頂き、注目を集める方法も一つあるのではないか。</p>
委員長	<p>数年前に県で取組んだ麻疹（はしか）のキャンペーンの際には、沖縄出身の歌手であるKiroroが委員に任命され、厚生労働省のポスターに掲載されました。これは沖縄出身の感染症専門家の方が国立感染症研究所におりまして、その先生がKiroroを推薦し、事務所に話を持ちかけたところ、すぐに応じて頂き、無料にて出演する運びになったようです。 その出演の経緯から見ても、芸能人の方に出演を依頼するのはそう高い壁でもないように思います。もちろん、職員の方が作成した映像作品も素晴ら</p>

	<p>しいものですが、様々な面から広報活動について検討頂けたらと思います。他にございませんか。</p> <p>(しばし間があり)</p> <p>それでは、議事に入ります。本日は議案が4件となっております。なお、議案第4号は人事案件となっておりますので非公開としたいと思いますがよろしいでしょうか。</p>
各委員	異議なし。
委員長	<p>このとおり決定します。</p> <p>それでは、議案第1号の説明をお願いします。</p>
総務課長	<p>(議案第1号の説明)</p> <p>・平成24年度沖縄県教育委員会の点検・評価について</p>
委員長	非常に読みやすく、県民にも読んでみたいと思わせるものに仕上がっているのではないかと思います。教育庁の各課が連携して作成できたということも意義があることだと思います。では御質疑をお願いします。
中野委員	<p>これまでの報告書と比較して一番良く出来ていると感じる。この評価書であれば担当が代わっても、きちんと対応が出来ると思う。</p> <p>今回の報告書は、見せるためのものではなく、子ども達のために反映できるものになったと思う。大変良かった。</p>
新垣委員	<p>今回の報告書は写真が多く掲載されている点や、文字のフォント等もとても確認しやすくなっている。写真を掲載することで、事業の概要が伝わりやすくなる。行事のたびに写真を残しておくことは大事だと思う。</p> <p>やったことを皆さんにわかりやすく伝えて、それを伸ばしていけるようなものにしてほしい。</p>
安里委員	他の委員と同じで、大変見やすい報告書になっていると感じる。この報告書で雛形は出来たと思うので、今後は作成時期を早め、チェック体制を整えるなどの対応が求められると思う。
宮城委員	丁寧だがシンプルで、かつ分かりやすい報告であると思う。来年からは次に担当される方にノウハウを引き継いでいただき、早めに仕上げることができるようになっていただきたい。
委員長	これは全国に配布されるものなののでしょうか。
総務課長	はい。HPにも掲載しますので、全国でご確認いただけます。
委員長	<p>この報告書をご覧になった方の意見を真摯に受け止めて、今後もいいものをつくっていくという姿勢を継続していきたいですね。</p> <p>では、このとおり決定してよろしいでしょうか。</p>
各委員	異議なし。
委員長	このとおり決定します。

	次に、議案第2号の説明をお願いします。
県立課長	(議案第2号の説明) ・沖縄県立特別支援学校管理規則の一部を改正する規則について
委員長	那覇整肢療護園の改築のため、一時的に学校を別の場所へ移し、改築が終了した時点でもとの場所へ戻すということですね。 それでは、御質疑ございますか。 (しばし間があり) では、このとおり決定してよろしいでしょうか。
各委員	異議なし。
委員長	これは、当然の配慮として必要なことだと思います。では、このとおり決定します。 次に、議案第3号の説明をお願いします。
県立課長	(議案第3号の説明) ・平成25年度沖縄県立特別支援学校の幼稚部及び沖縄県立沖縄高等特別支援学校の入学定員について
委員長	それでは、御質疑お願いいたします。
中野委員	前年度と増減なしとのことで、提案について異議はないが、平成22年度から中部農林と南風原高校に設置している分教室について、成果・課題等の実態を報告頂きたい。
県立課長	平成22年度からモデル事業として分教室を設置しております。先日、分教室にかかる検討委員会の最終報告がされており、分教室の生徒は7割以上が「授業が楽しい」と回答しており、保護者も同世代の子どもとのつながりが持てることに9割以上が良かったと回答しています。 理解・啓発の推進に関しても、高校の生徒の約6割が「障害者に対する認識が変化した」と回答しているほか、教職員も9割近くが分教室設置について「良かった」と回答しています。
中野委員	実際に学校現場を確認しても、とても良い印象を受けた。報告が聞けてよかった。
宮城委員	今、小学校の特別支援学級と関わっており、もともと普通学級にいて授業理解に難のあった子が、特別支援学級の設置により、教員とマンツーマンで接するようになったところ、文字書き等が出来るようになったとの報告を聞いた。早期の対応が大事なのだと感じた。 今回の件についても、ご理解いただけている保護者の方がほとんどということに安心した。
新垣委員	私も中部農林で、他の子ども達と普通に接している状況を見て、分教室の良さを実感できた。南風原高校も見たが、実習等で、もっと手作業をさせた

	ほうがよいと感じた。
県立主任指導主事	現在、実習を含めて、高校と分教室側と一緒に学習ができる取り組みを各学校で進めています。南風原高校では、食品加工等において、学習の機会を広げていくような取り組みを進めております。
委員長	特別支援学級で特別な能力を持った子ども達がいるという話もありますので、芸術分野等を中心に、その特性を伸ばすような教育が出来るとよいのではないのでしょうか。
教育長	分教室は、モデル事業として指定していることもあり、先日、庁内で今後の方向性等について議論したところですが、かなり成果は上がっておりますので、継続の方向で考えています。 久米島高校の園芸科については編成整備との関係もあるため、研究しながら取り組みたいと考えています。 他の学校への拡充についても視野に入れ、検討を重ねたいと思います。
委員長	他にございませんか。 (しばし間があり) では、このとおり決定してよろしいでしょうか。
各委員	異議なし。
委員長	このとおり決定します。 休憩します。 (以下は非公開部分のため省略します)